



2023年11月10日

各位

会社名 株式会社 スズケン
代表者名 代表取締役社長 浅野 茂
(コード番号9987 東証プライム市場、名証プライム市場、札証)
問合せ先 執行役員グループ企画本部長 山本 裕一
(TEL. 052-961-2331)

2024年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異および 2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社が2023年5月15日に公表しました連結業績予想値につきまして、2024年3月期第2四半期累計期間の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日(2023年11月10日)開催の取締役会において、2024年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 2024年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 2024年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想値と実績値との差異

(2023年4月1日~2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,099,700	百万円 7,000	百万円 8,500	百万円 5,400	円 銭 65.27
実績値 (B)	1,194,472	16,566	18,199	15,884	191.98
増減額 (B-A)	94,772	9,566	9,699	10,484	
増減率 (%)	8.6	136.6	114.1	194.1	
【ご参考】前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	1,138,310	14,882	16,717	10,850	123.36

(2) 差異の理由

当第2四半期累計期間の売上高については、抗悪性腫瘍剤の市場拡大やスペシャリティ医薬品等の新薬が寄与したことに加え、新型コロナウイルス関連商材(治療薬・診断薬その他)売上高が、当社想定よりも上振れたことなどにより前回発表予想を上回ることとなりました。

営業利益、経常利益は、医薬品卸売事業においてお得意さまとの価格交渉が厳しさを増したものの、増収効果ならびに販管費の抑制に継続して取り組んだことなどにより、それぞれ前回発表予想を上回ることとなりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益においては、前述の営業利益、経常利益の上振れに加え、本年5月15日に開示した当社中期経営計画を踏まえ、政策保有株式(投資有価証券)の縮減(4銘柄)を実施し、特別利益として投資有価証券売却益(47億円)を計上した結果、前回発表予想を上回ることとなりました。

II. 2024年3月期通期連結業績予想の修正について

(1) 通期連結業績予想の修正

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,231,900	百万円 17,000	百万円 19,900	百万円 13,000	円 銭 157.13
今回修正予想 (B)	2,326,700	24,900	27,900	24,200	292.43*
増減額 (B-A)	94,800	7,900	8,000	11,200	
増減率 (%)	4.2	46.4	40.2	86.1	
【ご参考】前期実績 (2023年3月期 通期)	2,314,828	32,605	36,376	20,345	236.47

*今回修正予想(B)の「1株当たり当期純利益」については、本日別途公表いたしました

「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」に基づく自己株式取得の影響を考慮しておりません

(2) 修正の理由

第2四半期連結累計期間までの実績等を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想を上回る見込みです。

第3四半期以降については、新型コロナウイルス関連商材(治療薬・診断薬その他)の見通し、世界的なインフレの進行による原材料価格の高騰に伴う商品価格の値上げや各種経費増など、依然として不透明な要素が多いことから、第2四半期実績の差異相当に加えて、一部発生費用の期ずれを見込むこと、政策保有株式(投資有価証券)の縮減に引き続き取り組むことなどを踏まえ、通期業績予想に反映するものです。

※ 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上